



2027年2月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年10月15日

上場会社名 株式会社ビザスク 上場取引所 東
 コード番号 4490 URL http://visasq.co.jp/
 代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）端羽 英子
 問合せ先責任者 （役職名）経営管理本部長 （氏名）宮城 勝秀 TEL 03-6407-8405
 半期報告書提出予定日 2026年10月15日 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有（当社Webサイトに掲載）
 決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第2四半期（中間期）の連結業績（2026年3月1日～2026年8月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	取扱高（※1）		営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期中間期	8,023	14.1	5,562	16.5	848	69.6	850	68.8	489	169.2
2026年2月期中間期	7,032	△2.5	4,774	△3.3	499	△14.2	503	△11.4	181	69.2
（注）包括利益	2027年2月期中間期		496百万円（254.9%）		2026年2月期中間期		139百万円（△27.5%）			

	調整後EBITDA （※2）		1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年2月期中間期	756	92.3	38.26	38.09
2026年2月期中間期	393	△16.7	5.11	5.08

※1：当社の知見プラットフォーム事業において当社が顧客から得た対価（知見提供取引毎に顧客と合意した値引控除前の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます）の合計

※2：営業利益＋減価償却費＋株式報酬費用－Coleman社ソフトウェア開発費に関する減損損失

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期中間期	7,938	2,315	28.2
2026年2月期	8,091	1,813	21.5

（参考）自己資本 2027年2月期中間期 2,238百万円 2026年2月期 1,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—	0.00			
2027年2月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式（非上場）の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 2027年2月期の連結業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は、対前期増減率）

	取扱高		営業収益		調整後EBITDA		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	15,989	10.0	10,972	10.0	1,215	4.6	1,400	4.4	1,405	0.0	750	△15.9

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

除外 1社（社名）VISASQ SINGAPORE PTE. LTD.

（注）詳細は、添付資料P.8「2. 中間連結財務諸表及び主な注記（4）中間連結財務諸表に関する注記事項（連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記）をご覧ください。

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2027年2月期中間期	9,284,922株	2026年2月期	9,264,500株
2027年2月期中間期	75株	2026年2月期	75株
2027年2月期中間期	9,280,146株	2026年2月期中間期	9,254,686株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（中間期）

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、2026年4月14日に開示した「2026年2月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の添付資料「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」などの将来予測情報に関する説明をご覧ください。

補足資料

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

A種類株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年２月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年２月期	－	0.00			
2027年２月期（予想）			－	0.00	0.00

B種類株式	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年２月期	－	0.00	－	0.00	0.00
2027年２月期	－	0.00			
2027年２月期（予想）			－	0.00	0.00

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	2
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	5
中間連結損益計算書	5
中間連結包括利益計算書	6
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(継続企業の前提に関する注記)	9

1. 経営成績等の概況

（1）当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間における我が国経済は、堅調な企業業績やAI/DX関連やソフトウェアへの活発な投資に支えられ、緩やかな回復を続けました。一方で、世界経済においては中東情勢を取り巻く地政学リスクなど、不確実性の高い状況が続きました。

このような状況の下、当中間連結会計期間における知見プラットフォーム事業はおおよそ業績予想の想定通りに推移しております。

国内事業法人向け事業（国内における事業会社を主要顧客とする事業領域）は、前年同期間対比で取扱高約+20%の成長となりました。様々なプロダクトを顧客に提案・提供する営業活動等を通じて、既存顧客内の需要を掘り起こす取り組みを進めております。

コンサル・金融（国内顧客）事業（国内におけるコンサルティング・ファーム、金融機関等を主要顧客層とする事業領域）は、前年同期間対比で取扱高+約25%の成長となりました。主要顧客であるコンサルティング・ファーム等からの需要に基づき国内外エキスパートのマッチングが増加しております。また、グローバルで共通したプラットフォームへ取引の移管を進めており、グローバルな案件・エキスパート情報等のデータベースの活用や、AI活用による生産性向上、コンプライアンス水準の強化による更なる競争優位性の確保等を進めております。

コンサル・金融（海外顧客）事業（海外におけるコンサルティング・ファーム、金融機関等を主要顧客層とする事業領域）は、前年同期間対比で取扱高成長率+約2%となりました。コア商材であるインタビューが米国において好調に推移している中、昨年好調だったサーベイの商材価値等を再強化する取り組みを進めており、また、AI活用の推進等を通じた収益性向上を目指しております。

以上の結果、当中間連結会計期間末時点で登録者数は80万人超、取扱高（※1）は知見プラットフォーム事業全体で8,023百万円となりました。

また、当中間連結会計期間における営業収益は5,562,999千円（前年同期比16.5%増）、営業利益848,137千円（前年同期比69.6%増）、経常利益850,488千円（前年同期比68.8%増）、親会社株主に帰属する中間純利益489,049千円（前年同期比169.2%増）、調整後EBITDA（※2）は756,370千円（前年同期比92.3%増）となりました。

なお、当社グループは知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

（※1）取扱高：当社の知見プラットフォーム事業において当社が顧客から得た対価（知見提供取引毎に顧客と合意した値引控除前の数値であり、アドバイザーへの謝礼を含みます）の合計

（※2）調整後EBITDA：営業利益＋減価償却費＋株式報酬費用－Coleman社ソフトウェア開発費に関する減損損失

（2）当中間期の財政状態の概況

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当中間連結会計期間末における資産合計は7,938,543千円となり、前連結会計年度末より153,080千円減少しました。これは主に、その他流動資産が141,298千円増加した一方、現金及び預金313,027千円減少したことによるものであります。

（負債）

当中間連結会計期間末における負債合計は5,623,531千円となり、前連結会計年度末より654,677千円減少しました。これは主に、既存借入の借り換えの結果、長期借入金が1,566,671千円増加した一方、1年内返済予定の長期借入金1,973,816千円及び賞与引当金が117,229千円減少したことによるものであります。

（純資産）

当中間連結会計期間末における純資産合計は2,315,012千円となり、前連結会計年度末より501,597千円増加しました。これは主に、当中間連結会計期間に親会社株主に帰属する中間純利益489,049千円を計上したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比べて261,416千円減少いたしました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、402,357千円の収入（前年同期比79.1%増）となりました。収入の主な内容は、税金等調整前中間純利益752,378千円、減損損失128,029千円、賞与引当金の減少額121,936千円、法人税等の支払額232,689千円等によるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、264,129千円の支出（前年同期比0.4%減）となりました。これは主に、無形固定資産の取得による支出123,094千円、貸付けによる支出95,000千円等によるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、419,925千円の支出（前年同期比63.9%増）となりました。これは主に、長期借入れによる収入2,000,000千円、長期借入金の返済による支出2,407,145千円によるものです。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年2月28日)	当中間連結会計期間 (2026年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,987,515	4,674,487
売掛金及び契約資産	2,245,666	2,177,383
その他	335,376	476,674
貸倒引当金	△14,360	△12,975
流動資産合計	7,554,196	7,315,569
固定資産		
有形固定資産	115,937	126,803
投資その他の資産	421,490	496,170
固定資産合計	537,427	622,974
資産合計	8,091,624	7,938,543
負債の部		
流動負債		
買掛金	299,492	256,706
1年内返済予定の長期借入金	2,373,812	399,996
未払金	459,455	388,437
リース債務	31,801	34,109
未払法人税等	243,264	250,322
契約負債	1,964,407	2,002,787
賞与引当金	476,527	359,297
その他	324,684	282,097
流動負債合計	6,173,444	3,973,754
固定負債		
長期借入金	—	1,566,671
リース債務	45,880	30,169
繰延税金負債	6,049	—
その他	52,834	52,936
固定負債合計	104,764	1,649,777
負債合計	6,278,209	5,623,531
純資産の部		
株主資本		
資本金	484,467	486,108
資本剰余金	9,247,324	9,248,776
利益剰余金	△11,384,015	△10,894,965
自己株式	△278	△278
株主資本合計	△1,652,502	△1,160,358
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	3,391,679	3,399,116
その他の包括利益累計額合計	3,391,679	3,399,116
新株予約権	74,238	76,254
純資産合計	1,813,415	2,315,012
負債純資産合計	8,091,624	7,938,543

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業収益	4,774,392	5,562,999
営業費用		
役員報酬	23,849	33,556
給料及び手当	2,034,642	2,200,780
賞与引当金繰入額	287,003	349,202
支払報酬	185,846	209,597
その他	1,743,080	1,921,724
営業費用合計	4,274,422	4,714,862
営業利益	499,969	848,137
営業外収益		
受取利息	2,925	7,598
受取家賃	18,550	18,400
債務取崩益	—	6,767
受取還付金	224	83
為替差益	7,434	—
その他	6,146	5,778
営業外収益合計	35,281	38,628
営業外費用		
支払利息	27,545	25,459
為替差損	—	10,687
その他	3,820	130
営業外費用合計	31,365	36,277
経常利益	503,885	850,488
特別利益		
関係会社清算益	—	29,919
特別利益合計	—	29,919
特別損失		
減損損失	137,195	128,029
その他	520	—
特別損失合計	137,716	128,029
税金等調整前中間純利益	366,169	752,378
法人税、住民税及び事業税	144,094	242,307
法人税等調整額	40,426	21,020
法人税等合計	184,520	263,328
中間純利益	181,648	489,049
親会社株主に帰属する中間純利益	181,648	489,049

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
中間純利益	181,648	489,049
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△41,739	7,437
その他の包括利益合計	△41,739	7,437
中間包括利益	139,909	496,487
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	139,909	496,487
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)	当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	366,169	752,378
減価償却費	18,278	28,375
減損損失	137,195	128,029
関係会社清算損益 (△は益)	—	△29,919
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△170,907	△121,936
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	3,320	△1,746
受取利息及び受取配当金	△2,925	△7,598
支払利息	27,545	25,459
為替差損益 (△は益)	8,703	10,245
売上債権の増減額 (△は増加)	405,669	101,964
仕入債務の増減額 (△は減少)	△43,829	△43,782
前払費用の増減額 (△は増加)	20,253	△64,654
未払金の増減額 (△は減少)	△60,976	△79,102
未払費用の増減額 (△は減少)	46,039	△10,006
契約負債の増減額 (△は減少)	△315,480	12,172
前受収益の増減額 (△は減少)	△1,286	△4,147
預り金の増減額 (△は減少)	11,411	△10,234
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△56,513	△20,796
その他	△2,644	△18,880
小計	390,021	645,818
利息及び配当金の受取額	2,925	7,598
利息の支払額	△26,787	△18,369
法人税等の支払額	△141,533	△232,689
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,625	402,357
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△114,454	△44,176
無形固定資産の取得による支出	△130,935	△123,094
敷金及び保証金の差入による支出	△19,884	△5,177
敷金及び保証金の回収による収入	—	3,319
貸付けによる支出	—	△95,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△265,274	△264,129
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	2,000,000
長期借入金の返済による支出	△249,875	△2,407,145
株式の発行による収入	7,866	3,094
リース債務の返済による支出	△14,129	△15,873
財務活動によるキャッシュ・フロー	△256,138	△419,925
現金及び現金同等物に係る換算差額	△57,071	20,280
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△353,858	△261,416
現金及び現金同等物の期首残高	4,606,652	5,003,357
現金及び現金同等物の中間期末残高	4,252,793	4,741,941

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更に関する注記)

(連結の範囲の変更)

当中間連結会計期間において、VISASQ SINGAPORE PTE. LTD. は清算したため、連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

当社グループは、知見プラットフォーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

【関連情報】

前中間連結会計期間 (自 2025年3月1日 至 2025年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	合計
2,721,394	2,052,997	4,774,392

(注) 1. 営業収益は、顧客と契約している当社グループ法人の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。以下、(2)も同様であります。なお、「米国」にはColeman Research Group, Inc. が分類されております。

2. なお、上記営業収益はすべて「顧客との契約から生じる収益」であり、その他の収益はありません。

(2) 営業利益

(単位：千円)

日本	米国	合計
297,116	202,853	499,969

(3) 減損損失

Coleman Research Group, Inc. が保有している固定資産について、収益性が低下しているため、回収可能価額をゼロとして、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては137,195千円であります。

当中間連結会計期間 (自 2026年3月1日 至 2026年8月31日)

1. 製品及びサービスごとの情報

単一の製品・サービスの区分の外部顧客への営業収益が中間連結損益計算書の営業収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

2. 地域ごとの情報

(1) 営業収益

(単位：千円)

日本	米国	合計
3,437,339	2,125,659	5,562,999

(注) 1. 営業収益は、顧客と契約している当社グループ法人の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。以下、(2)も同様であります。なお、「米国」にはColeman Research Group, Inc. が分類されております。

2. なお、上記営業収益はすべて「顧客との契約から生じる収益」であり、その他の収益はありません。

(2) 営業利益

(単位：千円)

日本	米国	合計
768,112	80,024	848,137

(3) 減損損失

Coleman Research Group, Inc. が保有している固定資産について、収益性が低下しているため、回収可能価額をゼロとして、帳簿価額の全額を減損損失として計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当中間連結会計期間においては128,029千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。